

# 理科 中学校 第2学年

## 個々の問題の出題の意図及びその正答率

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率
	大問	小問	通番		科学的な思考	観察・実験の技能・表現	知識・理解	
第一分野	1	1	1	電流計や電圧計を入れた回路図を作図できる。		○		60.3
		2	2	測定値を正確にグラフ用紙上に記録し、比例のグラフをかくことができる。		○		75.4
		3	3	測定値から、2つの電熱線の抵抗や電圧と電流の関係について考えることができる。	○			76.5
		4	4	オームの法則を理解している。			○	61.1
	2	1	5	水酸化ナトリウムを水に溶かして実験する理由について理解して、水の電気分解を行うことができる。		○		60.0
		2	6	水の電気分解の操作手順を身に付けている。		○		61.3
		3	7	水を電気分解したときに発生する気体の名前を理解している。			○	66.4
		4	8	水の電気分解の実験結果と水の分子のモデルをもとにして、水の電気分解をモデルで考えることができる。	○			59.1
		5	9	水の電気分解を表す化学反応式を理解している。			○	30.6
	3	1	10	電流が流れる導線のまわりにできる磁界の向きについて理解している。			○	38.8
		2	11	電流が流れる導線にはたらく力の向きが、電流の向きや磁石の磁界の向きに関係していることから、コイルの動きについて考えることができる。	○			88.2
		3	12	電流が流れる導線にはたらく力の大きさが、電流の強さや磁力の大きさに関係していることから、コイルの動きについて考えることができる。	○			84.3
		4	13	磁石による磁界の中にある導線に電流が流れたときの磁界の様子について、理解している。			○	30.4
	4	1	14	うすい塩酸と石灰石の反応で発生する気体を表す化学式を理解している。			○	52.3
		2	15	質量保存の法則について理解している。			○	48.9
		3	16	化学変化の前後における気体の出入りを考慮して、全体の質量を考えることができる。	○			56.3
第二分野	5	1	17	だ液をふくませたろ紙の他に水をふくませたろ紙も準備する理由を理解して、だ液の働きを調べる実験を行うことができる。		○		81.1
		2	18	40℃ぐらいの湯を用いて容器をあたためる理由を理解して、だ液の働きを調べる実験を行うことができる。		○		88.1
		3	19	ヨウ素液の反応の結果だけからわかることについて、考えることができる。	○			69.5
		4	20	ベネジクト液と糖が反応すると、液の色が赤かっ色に変化することを理解している。			○	49.7
		5	21	ヨウ素液とベネジクト液の両方の反応からわかることについて考え、だ液がデンプンを糖に変えていることを説明することができる。	○			54.6
	6	1	22	赤血球の名前とそのはたらきについて理解している。			○	84.1
		2	23	血しょうのはたらきについて理解している。			○	53.1
		3	24	小腸が養分を吸収し、その養分が血管に取り込まれることを理解している。			○	46.2
	7	1	25	天気・風向・風力を、天気図記号を用いて表す方法を身に付けている。		○		10.2
		2	26	乾湿計の使い方および湿度表の読み取り方を身に付けている。		○		68.3
		3	27	湿度の変化や気温の変化からわかることについて考えることができる。	○			81.9